

## 情報連絡員報告・11月分

## 今月も製造業で「売上高」のDI値プラス

## ～ 難しい消費税の総額表示対応～

&lt; 東京都中央会 &gt;

11月の情報連絡員報告によると、「売上高」の前年同月比DI値が製造業で3.1と10月に続いて「増加」が「減少」を上回っていることが明らかになった。非製造業では-25.9で引き続き水面下の状態が続いている。「業界の景況」のDI値は製造業・非製造業ともにマイナスで依然として厳しい景況感である。消費税の総額表示に関して、端数切捨によるロス金額がかなりの額になるのではと懸念する報告が寄せられている。製造業65人、非製造業85人、計150人の集計。

## &lt; 特記事項欄より &gt;

漬物製造 = 消費税の総額表示に伴い価格設定時に端数の切捨が行われることがあるため、数量が大きくなるとかなりの金額のロスが生じるおそれがある。

水産物加工食品製造 = 食の安全面での関心が高まり、それに対応した食品開発等の取組が生き残るために求められている。

製粉業 = 今年も前年同期と比較すれば、小麦粉の生産量やパンの生産量は若干増加している。

清涼飲料製造 = 今年の飲料業界は1%減ということだが、ある種の飲料に関し

ては1%増ということである。中小企業においては、全てマイナスの状況である。

帽子製造 = 昨年は寒さが早くやってきてそこそこの商売ができたのですが、今年はどうやら暖冬傾向で需要の落ち込みに加え、消費低迷、低価格志向で最悪な状況です。

和服裁縫 = 過去の実績から行くと10月～12月までは、1年で1番多忙な時期であり、活気もあったが最近は減少の一端をたどっているのが業界の現状である。

塗料製造 = 売上高は前年比プラス2%、

全体的にはプラス傾向であるが、建築外装が伸びたのが主因で、自動車関連が落ち込みを見せている。電気機械関連は堅調を維持しているが木工関連は絶望的に低迷している。

ネジ類製造 = 鉄螺釘業界の景況の動向は、公共事業の減少で停滞基調が続いており、生産も依然として停滞傾向から脱せず景気の低迷が続いている。

金属熱処理業 = 乗用車、トラック、建材以外に好況の波が工作機械や一般産業機械にも広がっているようで当業界の部品の熱処理が大幅に増加している。

鋳物製造 = 価格について鋳物業界として全国的に値戻し運動を実施しており、一部の企業では多少成果が表れ始めているが、全体的には厳しい状況にある。

鉄鋼団地 = 一時的な多忙感はあるが、採算

面が厳しく受注も盛り上がりには欠け、不安定な状態が続いている。

メッキ業 = 地価の下落、土壌汚染で自主廃業も難しくなっていることから倒産に至る場合もある。

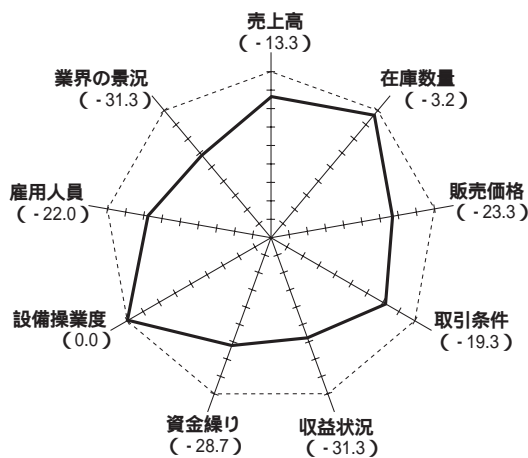
建築金物製造 = 有力地銀の国有化等の状況から、銀行の貸し渋りが一段と強まるのではと懸念される。

#### < 要望事項欄より >

\* 景気刺激策を盛り込んだ予算編成を求めます。 [食品加工業]

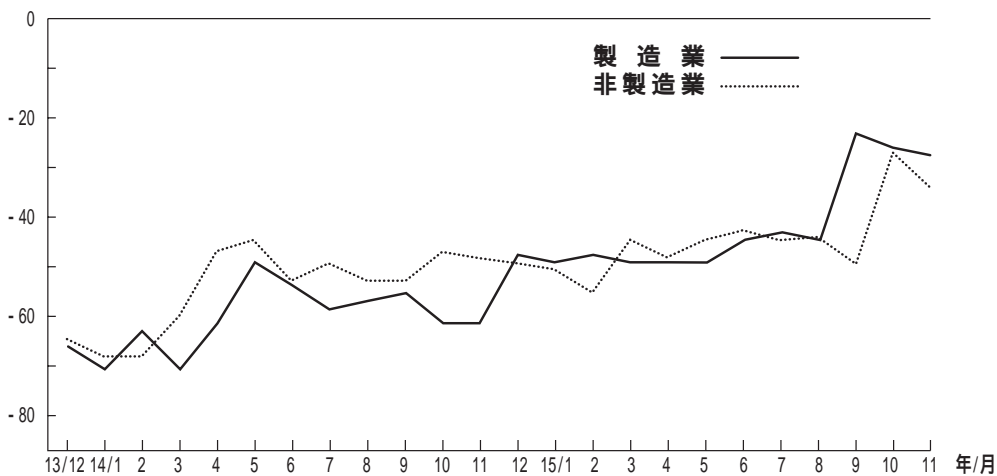
\* 倒産した事業所に有害物が放置されているところが多い、危険ですので措置をお願いします。また、競売等で所有権が移転した場合、有害物が適正に処理されない場合がありますのでご指導をお願いします。 [メッキ業]

11月のレーダーチャート(全産業、前年同月比DI値)

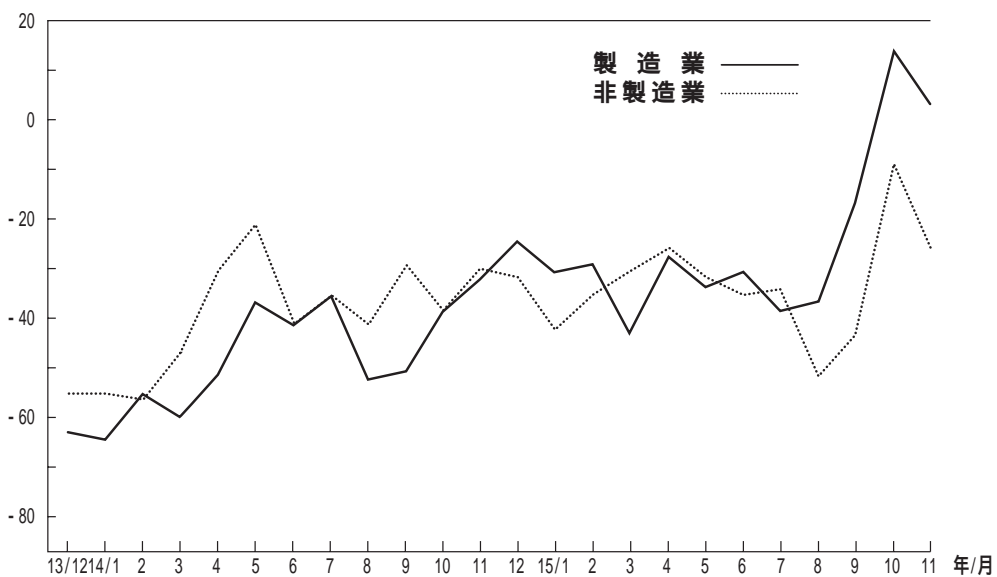


(注)点線の9角形が「DI = 0」を示す。したがって、点線の内側は「減少」「低下」「悪化」、外側は「増加」「上昇」「好転」となる。

業界の景況DIの変化（H13.12～H15.11）  
（前年同月比）



売上高DIの変化（H13.12～H15.11）  
（前年同月比）



(注)DIとは、ディフュージョン・インデックスの略で、前年同月に比べ「増加」・「上昇」・「好転」したとする割合から「減少」・「低下」・「悪化」したとする割合を差引いた値である。